

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-2161
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	教育に関する調査研究推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	研究実績を踏まえつつ、本市の学校教育における教育課題に照らし合わせてテーマを設定し、実証的な調査研究を推進する。 ・調査研究を推進するにあたり、研究協力校、市立学校・園はもとより関係機関の協力を要請する。 ・調査研究の成果は、教育フォーラムやホームページ掲載により、広く教職員に公開するとともに、研修講座や学校教育等で活用する。				
6年度概要	喫緊の教育課題への対応を踏まえ、研究協力校及び研究推進委員並びに関係機関等に協力を要請し、実証的な調査研究を推進する。また本市の教育課題に対しての共通認識を持って教育委員会と学校が一丸となって取り組んでいく。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

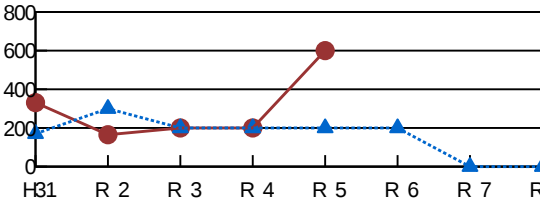
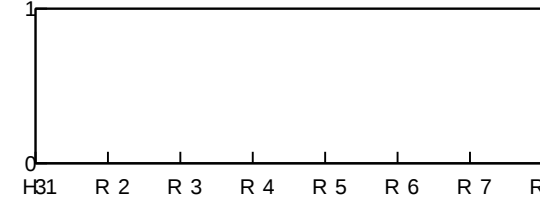
対象（何を）	高松市内の小中学校教育職員及び教育関係者
意図（どのような状態にしたいか）	学校教育に係る教職員の資質向上や本市の教育の充実・振興を図る上で共通認識を持つことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
調査研究委員会開催数	回	13	20	20	15	13

【事業の成果】

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5			
	調査研究発表大会等参加人数（H 2 9 から教育フォーラムに変更）	人	目標値	200	200	200	200	200			
			実績値	200	200	600					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	（目標達成度） 							（達成度） 300.0% 35点		
	令和 5 年度からは正式にオンライン開催とし、市内小・中学校に対しては研修の一環であることを周知した。5 年度は当センターが指定した小・中学校の調査研究発表や基調講演、パネルディスカッションを実施した。多様な立場の方々の見方・考え方が表出され、本市の教育の在り方について考える機会となった。										
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5			
			目標値								
			実績値								
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	（目標達成度）							（達成度）		

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	21,014	7,612	7,689	7,776
（事業費）	〔円〕	13,464	128	162	249
（職員人件費）	〔円〕	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 研究指定校等の協力により、協力校の事例を挙げ、成果も含めて発表することは、他の学校に対して良い刺激となった。また、学校現場から出された問題に対して、解決に導けるようなオンライン研修を実施した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 教科指導に限定せず、喫緊の教育課題についてテーマを設定し、学校現場の助けとなるような実証的な研究や発表を推進していく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	研究指定校研究推進事業		事業期間	

【事業全体概要】

事業の概要	国・県から研究指定校等事業を受けることで、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実を図るとともに、教職員の資質・能力の向上を図る。				
6年度概要	○国・県から事業を受託し、研究指定校が必要とする経費を支出する。 ○研究推進についての指導・助言を行う。 小学校費 中学校費				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

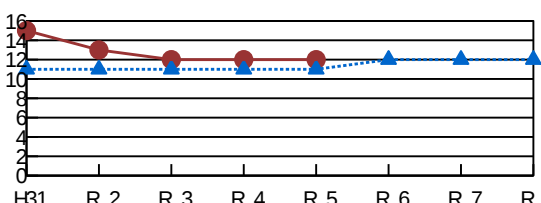
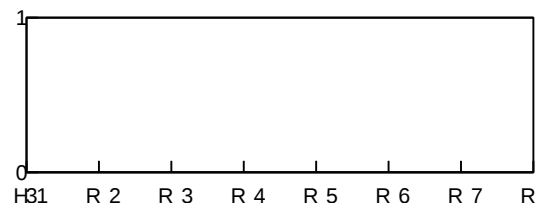
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校
意図（どのような状態にしたいか）	研究指定校等事業の実施により、学校課題の解決等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
研究推進についての指導・助言を行った学校数	校	9	9	9	9	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	研究指定校等事業の成果を生かしている学校数	校	目標値	11	11	11	12	11
			実績値	12	12	12		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 研究指定等事業の受託を希望する学校への支援により、学校課題の解決等を図りながら、目標を概ね達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 109.1%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	4,195	4,316	4,508	5,764
（事業費）	〔円〕	420	574	744	2,000
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 県からの委託金を受ける事業実施方法により、本市の事務処理が非常に煩雑になっている。学校における事務も負担が大きく、今後、実施主体の県と実施方法について協議を行う必要がある。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校教育研究研修事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	各種の研究会等への参加や、研究用の雑誌を購読することで、教員の資質の向上とともに授業の質を高め、生徒の学力向上に寄与する。				
6年度概要	各種研究大会参加費等				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

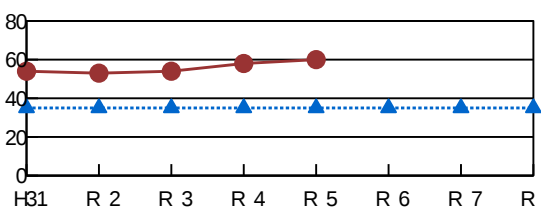
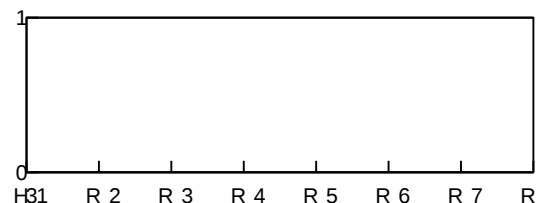
【事業の目的】

対象（何を）	学校教員
意図（どのような状態にしたいか）	教師の教育力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
各種研究会・大会等の参加回数	回	0	0	8	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	国公立大学の合格率	%	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	54	58	60		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 171.4%
	県外の研究会・大会等に参加することにより、教師の資質の向上及び授業への反映を図っており、生徒の学力の向上、さらには、国公立大学の合格者の増加に繋がっている。							35点
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[円]	234,345	232,475	233,925	1,104
（事業費）	[円]	295	471	588	1,104
（職員人件費）	[円]	234,050	232,004	233,337	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
研究用の雑誌の購読などを行い、教員の資質の向上を図った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
各種研究会への参加等を通じて教員の資質を高めることで、生徒の学力向上への寄与が見込まれることから、本事業を継続する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-2163
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	特別支援教育体制整備推進事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	就学前から高等学校までの発達段階に応じた、発達障害を含む様々な障害を持つ幼児児童生徒に対する適切な教育的支援のための体制整備を推進するために、巡回相談員、専門家チームによる巡回相談、県立特別支援学校教員による連携訪問等を行い、指導内容・方法についての指導・助言を行い充実を図る。特別支援学級担任の資質向上のための研修会の開催、特別支援教育コーディネーター養成専門研修、特別支援教育研修会を香川県と共催し、受講者の専門性の向上を図る。				
6年度概要	○巡回相談等報償費 ○連携訪問等旅費 ○高松地域特別支援連携協議会傷害保険料 ○共催研修負担金				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）

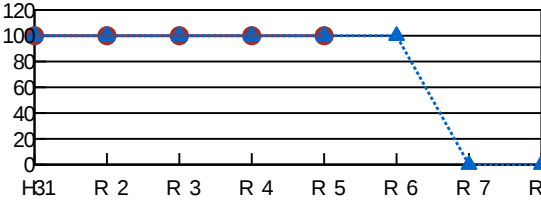
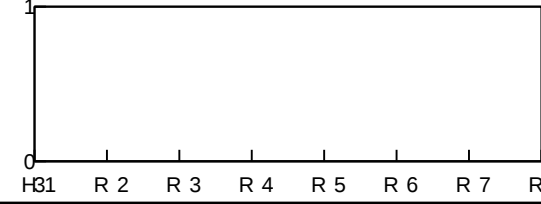
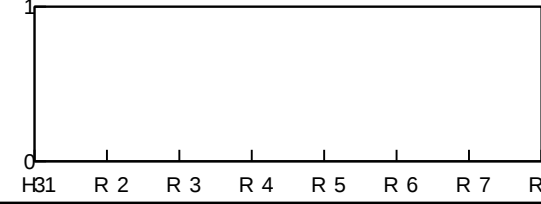
【事業の目的】

対象（何を）	発達障害を含む様々な障害がある幼児・児童生徒の指導・支援等を行っている教員等
意図（どのような状態にしたいか）	研修や指導助言を通して、特別な支援を必要とする幼児児童生徒への指導・支援の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
巡回相談回数（巡回相談員、専門家チーム）	回	43	29	35	35	32
連携訪問回数	回	55	60	53	60	60

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	相談希望校等への相談訪問率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 障害の種類が複雑になってきており、特別な支援を適切に行う体制を整備する必要がある中で、希望した学校には全て対応できた。	（目標達成度） 						（達成度） 100.0% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							（達成度）
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							（達成度）
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	7,700	7,587	7,643	7,671
（事業費）	〔円〕	150	103	116	144
（職員人件費）	〔円〕	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 特別な教育的支援が必要な児童生徒への支援について、専門的な知識を有する大学教員や医師等から、よりよい支援方法等について適切なアドバイスを得ることができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 特別な支援が必要な児童生徒の増加に伴い、巡回相談など相談業務に関わる人員と財源の確保に努めるとともに複数回にわたる訪問や短期個別指導アシスト教室を活用して、本人、保護者、学校のニーズに応えていく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	学校・地域連携システム推進事業	事業期間	平成 30年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	学校運営協議会を各小・中学校に設置する。地域連携システムにおける学校運営協議会は、学校が、保護者や地域の住民に対し、学校運営に関して、活動内容を報告したり、意見や支援活動を求めることで、当該学校のよりよい教育の実現に取り組む。				
6年度概要	学校運営協議会委員報酬等				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	学校、地域
意図（どのような状態にしたいか）	学校が保護者や地域の住民に対し、学校運営に関して、活動内容を報告したり、意見や支援活動を求めたりすることで、当該学校のよりよい教育の実現に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
学校・地域連携システム組織結成校数	校	69	69	69	69	69

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	学校・地域連携システム組織結成割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） すべての学校で組織を結成することができており、目標は達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	学校評価（家庭や地域との連携・協働に関すること）の評価平均得点	点	目標値	3.56	3.6	3.6	3.6	3.6
			実績値	3.43	3.41	3.38		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 家庭や地域との連携・協働に関して、保護者や地域が効果を実感することができる事業実施方法を検討する必要がある。 (目標達成度)							(達成度) 93.9%
								32点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	4,112	4,074	8,349	12,095
（事業費）	〔円〕	337	332	4,585	8,331
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 各校の具体的な活動内容の情報共有を図るなどにより、一層充実した活動となるよう努める。			